「地域とともに みえ短」

高齢化が進む社会情勢の中では、若い学生の存在は地域にとって大切な財産となります。

三重短期大学では、学生の学内活動だけでなく、地域社会において自主的にさまざまな活動をすることを推奨しています。

こうした活動は、学生が地域貢献を果たすとともに、地域社会が学生を育む機会でもあり、地域と一体となった三重短期大学を目指しています。

学報 みえたん

発行所
三重県津市一身田中野157
三重短期大学
電話 059－232－2341
E-mail:232-2341@city.tsu.lg.jp
印刷所
㈱伊勢出版
電話 059－265－6888

一身田寺内町の清掃

一身田寺内町は、平成二十九年十一月に国宝指定された２施設を含む高田本山専修寺を中心とした寺内町で、今もほぼ完全な形で環濠（かんごう）が残されるなど、多くの文化財や歴史的な町並みを現在に伝えています。

毎年、春秋に地元の住民や商店、地元中学校の生徒の皆さんとともに、一身田寺内町の清掃や高田本山専修寺境内の清掃・除草を行っております。

昨年と今春は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施が見送られましたが、実施が予定されるときには皆様の参加をお待ちしています。

大津波想定避難訓練

四月二十二日（木）南海トラフ巨大地震に備え、津波を想定した避難訓練を行いました。三重短期大学から、高台にある一身田上津部田の県総合文化センターを目指し、学生と教職員が歩いて避難しました。

また学内では防災啓発車による地震体験を行いました。

校舎の３・４階と屋上は津波避難ビルの指定を受けているため、屋上の緊急避難場所の確認も行いました。

災害時は、自分の身は自分で守ることが大切になります。この訓練により防災意識の一層の向上を図ることができました。

新型コロナウイルス感染拡大防止について

現在、本学の授業については、感染拡大防止対策を講じながら、対面授業を基本としつつ一部遠隔授業も取り入れ、実施しています。

施設への出入り口には消毒液を設置し、各教室では着席制限を行い、教室教壇や図書館カウンターには飛沫防止対策として遮蔽措置を行っています。

食堂も同様に着席に制限を設け、飛沫防止対策を行っています。

引き続き、感染状況を注視しつつ、安全面・健康面に考慮した姿勢を継続していきます。

学生機能別消防団

学生機能別消防団では、避難所での救援物資の配布などの支援活動や各種消防講習会における支援及び広報活動を行います。

辞令交付式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行うことができませんでしたが、今年度も50名の学生が機能別消防団員として入団しました。

10月には、初期消火訓練及び救急法に参加するなど地域防災について学んでいきます。

ウィズコロナ時代と三重短期大学

学長 村井 美代子

今年度四月から新たに食物栄養学科を設置し、本学は法経科、生活科学科とあわせて三学科体制になり、新しいカリキュラムのもとで新年度を迎えました。また法経科第２部では、仕事や育児・介護などのために通学時間が限られる方、あるいは自分のペースでゆっくり時間をかけて学びたいという希望をお持ちの方など、様々な学生のニーズに応じるために、二年間で卒業する課程を、通常の授業料で三年または四年をかけて卒業できる長期履修学生制度を開始しました。今年度は四名の長期履修学生が、この新しい制度を活用して学んでいます。さらに十月からは、本学の卒業生および地域の皆様を対象に「管理栄養士国家試験対策講座」と「社会福祉士国家試験対策講座」を新しく開講します。

昨年九月に「学報みえたん」を皆様のお手元にお届けしたときには、一年後にはコロナ禍も一定程度収まり、アフターコロナ時代を迎えた本学の様子をご報告できるのではと期待していました。一昨年度中止した学位記授与式を、今年三月には保護者に出席を控えていただく形で挙行し、昨年度中止した入学式を、今年四月には新入生のみの出席で執り行ないました。また昨年度は講義の開始時期を大幅に遅らせ、遠隔講義を多く開講しましたが、今年四月にはほぼ例年通りのスケジュールで前期の講義を開始し、九割近い講義を対面で行いました。学生自治会や三部会主催の新入生歓迎イベントには、多くの新入生が参加してくれました。

しかしながら現時点ではまだ決して「アフター」とは言えない状況が続いています。コロナとの共生を余儀なくされる中で、教職員と学生お互いの顔が見える形での大学運営が可能になっているのは、関係者の皆様のご支援は言うまでもなく、何よりも学生一人一人の理解と協力のおかげです。昭和二七年に設立された本学は、来年度創立七〇周年を迎えます。二万名を超える卒業生によって築かれてきた伝統を大切に継承しながら、コロナとの共生という大きな課題を抱えつつ、時代や地域の要請に応えるために大学としてより良い在り方を絶えず考え、引き続き自己改革に邁進したいと考えています。

より充実した法経科に向けて

法経科長　大畑智史

法経科は第2部から始まりましたが、おかげ様で、法経科における教育が開始されてからもうすぐ70年になろうとしています。この期間において、より充実した法経科教育の実施などの目的から、法経科第2部を設置したり、第1部のコースの再編を実施したり、第2部に長期履修学生制度を設けたりしてまいりました。以上のような取組みの中で、順調に、社会にとって有為な人材を輩出してまいりました。

今年度、法経科は、第1部法律コース59名・第1部経商コース50名・第2部55名の新入生を迎え入れました。学業への熱意が強い新入生が多く見受けられます。コロナ禍ではございますが、法経科教員一同、そのような学生一人一人の進路がきちんと決まるよう、学校教育に力を込めています。

しかし、社会情勢の変化は激しく、常に、社会にとって欠かせない法経科の構築に向けた努力が欠かせません。とりわけ、少子高齢化や、リカレント教育の充実を考慮した本学科のブラッシュアップが喫緊の課題となっています。もちろん、昨今のコロナ禍においてもなんとか法経科の機能を果たしてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大のような緊急事態に対する強い耐久性のある法経科を築き上げていかなければなりません。今後も、以上のようなことを考慮し、法経科における、入試制度、カリキュラム、地域連携や産学官連携、教員採用、などの体制を整えてゆこうと考えています。

食物栄養学科の現況

食物栄養学科長　橋本博行

本年度4月の新入生より、食物栄養学科がスタートしました。2年生は生活科学科 食物栄養学専攻で、これまで通りの科目の履修ができます。したがって、本年度は2つのカリキュラムが動くことになります。

昨年度、中止や延期になった入学式やオリエンテーション等は4月に実施することができました。ほとんど全ての授業が対面授業になり、実験実習に関しては2箇所に分かれての対面実習で実施しています。2年生は、昨年、遠隔授業が多く、十分な実験や実習の体験が制限されることがありましたが、今年度は積極的に実習等に取り組んでる様子が各担当教員から報告されています。

さらに、2年生は選択科目の特別演習（ゼミ）の履修が8割以上になるなど、授業等への積極的な取り組みがみられます。地域貢献活動などの課外活動では、高校生の運動部の栄養サポートや国体弁当メニューの提案など、2年生を中心として学生が活躍できる場面も多くなり熱心に活動しています。

1年生は、入学時より対面授業で講義や実習を受けています。食物栄養学入門という講義において、講義や実習の受け方や授業内容が栄養士のどのような仕事内容につながるか等の説明を受け、授業や実習に取り組むモチベーションが高くなったと感じています。食物栄養学科の1期生として、今後、授業や実習等への主体的な取り組みが期待できます。

生活科学科の現況

生活科学科長　南有哲

生活科学科は昨年度まで「食物栄養学専攻」と「生活科学専攻」で構成されていましたが、令和3年度からは後者のみの学科となっております。学生定員は１００名で、今年度は１０８名の入学者を迎えています。「生活科学」とは「家政学」と学問領域において重なるもので、生活主体（個人、家族、コミュニティ）と環境との相互関係を、総合的かつ実践的に研究することにより、人々の福利（well-being）や生活の質（Quality of Life）の向上に貢献することを目指す学問です。本学科は生活主体について中心的に学ぶ「生活福祉・心理コース」と、主として環境の側について学ぶ「居住環境コース」によって構成されており、学生は、衣食住や生活構造・生活実践に関する科目を基礎に、両コースの専修科目をも履修することで、生活科学についての総合的な理解を獲得できます。

本学科の特色の一つは地域社会に暮らす人々の福利やQOLの向上にかかわる資格へアクセスするための条件が整備されていることであり、「生活福祉・心理コース」では「社会福祉士基礎資格」、「居住環境コース」には「一級・二級・木造建築士受験資格」が得られるカリキュラムが組まれており、卒業後に資格取得に成功した学生も出ております。もう一つの特色は四年制大学への編入学希望者が多いことであり、前者では主として私大文系に、後者では主に国公立理系の学部学科に、それぞれ毎年10名近い学生を送り出しているというのが現状です。

キャンパスライフ

学生部長　長友薫輝

コロナ禍での学生生活には様々な制約があります。ただ、学生のみなさんには可能な範囲で最大限に、有意義に過ごして欲しいと考えています。

なかでも、人とのつながりをつくり、相互に学び合う場を提供するのは大学の重要な役割の1つです。

学生部では毎月、学生自治会、学祭実行委員会、三科合同クラブ委員会、生協学生委員会が協議する「三部会」を開催しています。もともとは、学生部と自治会、学祭実行委員会の三者が協議する場であったため「三部会」と呼んできました。

学生からの提案、要望をふまえてどうすれば実現できるのか、ということを前提に、学生とともに工夫を重ねています。今年4月には新入生歓迎会、そして新入生歓迎日帰りバス旅行を開催し、多くの新入生が参加し交流を促進することができました。

自治会や学祭実行委員会等からの提案があり、今年10月にはスポーツ大会、11月には2日間にわたって大学祭を企画し開催する予定です。近年は不開催となっていたスポーツ大会を実施したいという学生の思いを形に、コロナ禍であってもできることは実施して、人とのつながりをつくる場を提供していきたいと考えています。

大学祭は、オンラインでの参加も可能にするために、映像配信の同時中継も想定して企画立案を進めています。企画の骨子は、人とのつながりをつくる、という点にあります。例えば、津市内の食品に関する事業所にご協力を得て、大学祭にて商品の魅力を紹介し楽しんでいただく企画を学生が検討しています。

このように、地域の方々と学生がつながる機会を積極的に作り出すことなどを通じて、学生が主体的に学ぶ場を引き続き提供していきたいと考えています。

地域連携センターだより

地域連携センター長　藤枝律子

三重短期大学地域連携センターは、２００８年４月に本学と地域との連携に取り組むための部局として設置されました。連携センターの事業は、いずれも多方面からの支援を得て、着実にその成果を上げてきています。

その事業は、多岐にわたりますが、最も重要な位置づけとなっているのが生涯学習の機会を提供することです。この分野において中心になるのは、「地域連携講座」と「オープンカレッジ」の二つの事業です。「地域連携講座」は、本学の教員がコーディネータを務めて、各分野の著名な研究者や実務家をお招きし、最先端の知見を市民に提供する講座です。「オープンカレッジ」は、本学の教員が講師となり、毎年夏から秋にかけて、５日間10講座が開催されます。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、両講座とも残念ながら不開講のやむなきに至りました。今年度は、まず「オープンカレッジ」について、感染防止対策に努めながら対面での講座を再開いたしました。第１日目から、大勢の方に出席していただいており、いかに市民の皆さんがこの講座を心待ちにされていたか、よく分かりました。「地域連携講座」も、10月に開講を予定しています。

市政との連携の分野では、政策研究・研修があります。県や津市及び近隣の自治体職員を対象に、特定のテーマについて本学の教員とともに研究・研修を行うものです。

また、三十三総研との連携事業である「小論文・作品コンクール」は、今年で15回目になりました。今年度のテーマは「with/after コロナ時代の暮らし方～SDGsの視点から～」です。少しでも多くの学生が応募してくれることを期待して、イラスト部の学生による可愛いイラストを配したポスターやチラシを作成し、また応募期間を12月半ばまで延長しました。

他にも、高大連携事業、三重大との連携事業である「高等教育コンソーシアムみえ」を通じた地域貢献、学生ボランティア活動支援などを通じ、地域連携センターは、大学と地域とをつなぐ架け橋の役割を担っていきたいと思います。

図書館だより

附属図書館

図書館の所蔵資料は、令和２年度末で図書１０２,２４０冊（和書９７,４６８冊、洋書４,７７２冊）、雑誌１２７種（和雑誌１００種、洋雑誌15種、オンラインジャーナル12種）、紀要６８３種、新聞８種（外国紙２種含む）、視聴覚資料３７９タイトルで、小規模図書館でありながら、20万冊を超える資料を所蔵しています。

　また、令和２年度は、入館者数９,１５２人、貸出者数２,２２９人、貸出冊数４,３２７冊の利用がありました。図書に関する相談件数は、６４５件（所蔵調査３２９件、事項調査３１６件）となっています。

　令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用は大幅に減りましたが、感染症対策をしながら、学業支援を行いました。現在は、来館が不安な場合に活用できる電子書籍などの非来館サービス、対面せずに貸出できる「図書貸出ロッカー」や時間外も利用できる返却ポストもあります。

　平成17年に始まった図書館ボランティア部は、今は、当館をメインに活動を続けていますが、普段は中学生向けワークショップの開催など、積極的に活動しています。

図書館は、本を借りるだけでなく、居場所としての機能も持つ施設です。ぜひご利用ください。

令和３年度役員会・総会

三重短期大学教育振興会

　五月十三日、役員会を開催し、その後、総会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「書面決議」で開催しました。

　令和３年度役員の選任、令和２年度収入支出決算、令和３年度収入支出予算などを上程した第１～６号議案について、原案どおり承認されました。役員は平松会長、並びに小野副会長に留任いただき、二名の保護者の方々が書記、評議員に選任されるなど、合計二十九名による役員体制となりました。

　決算は、コロナ禍における学生への支援品の補助やクラブや自治会などへの補助などであり、本年度予算は、学生支援補助を含む厚生費補助が主なものとなっています。

　教育振興会は、昭和二十七年五月の開学直後に発足し、本学の教育目標である「広い分野の総合的な知識と深い専門的学術を教授研究し、豊かな人間性と高い知性を備え、議論的で自主的な判断能力に加え応用力や実践力の富む有為な人材育成をすること」の達成のために、教育の拡充や施設整備等の援助を図り、学生がより良い環境の中で学び教養が高められるよう活動しています。

令和2年度教育振興会収入支出決算書

収入　　　　三重短期大学教育振興会

科目	予算額	決算額	予算額に対する決算額の比較増減額	備考
	円	円	円	
繰越金	3,987,088	3,987,088	0	
会費	18,170,000	18,170,000	0	新入生会費　法Ⅰ・生活　267人　16,020,000円 法Ⅱ　86人　2,150,000円
繰入金	5,740,000	5,740,000	0	
雑収入	1,000	118	△ 882	預金利子118円
合計	27,898,088	27,897,206	△ 882	

支出

科目	当初予算額	流用・補正	予算現額	決算額	不用額	備考（主なもの）
	円		円	円	円	
教育振興会費	27,898,088	0	27,898,088	24,920,278	2,977,810	
事務費	1,810,000	0	1,810,000	1,571,984	238,016	
事務職員給与	1,500,000	0	1,500,000	1,369,544	130,456	振興会臨時職員給与
通信費	170,000	0	170,000	139,872	30,128	学報みえたん、総会通知郵送料等
消耗品費	10,000	0	10,000	5,395	4,605	
手数料	80,000	0	80,000	57,173	22,827	口座振込手数料
備品費	50,000	0	50,000	0	50,000	
会議費	16,000	0	16,000	11,000	5,000	
会議費	1,000	0	1,000	0	1,000	
役員行動旅費	15,000	0	15,000	11,000	4,000	監査開催時行動旅費
事業費	26,072,000	0	26,072,000	23,337,294	2,734,706	
学校運営費補助	6,331,000	0	6,331,000	5,542,077	788,923	
研修旅費補助	51,000	0	51,000	0	51,000	
入学試験啓蒙及び実施補助	1,800,000	0	1,800,000	1,692,827	107,173	大学案内パンフレット作成費等
清掃費補助	20,000	0	20,000	0	20,000	
消耗品費補助	30,000	0	30,000	22,843	7,157	
印刷費補助	80,000	0	80,000	37,950	42,050	学報みえたん印刷費
図書及び備品費補助	250,000	0	250,000	53,584	196,416	医務室備品購入費等
教員研究費補助	3,960,000	0	3,960,000	3,734,873	225,127	学会費補助、消耗品等
特別研究費補助	50,000	0	50,000	0	50,000	
学外活動等保険料	10,000	0	10,000	0	10,000	
報償費	80,000	0	80,000	0	80,000	
補導厚生費補助	14,681,000	0	14,681,000	13,320,389	1,360,611	
学生補導費	300,000	0	300,000	207,075	92,925	Wifi接続料、学生支援品郵送料
学外実習費補助	120,000	0	120,000	5,278	114,722	
厚生事業費	870,000	0	870,000	759,000	111,000	相談室運営費
就職対策費	1,700,000	0	1,700,000	1,071,180	628,820	編入学講座補助、41番教室プロジェクター修理
食堂運営費補助	600,000	0	600,000	600,000	0	学生食堂運営補助
文化事業費	2,480,000	0	2,480,000	2,300,000	180,000	クラブ助成金、自治会補助、大学祭補助
交歓競技会補助	1,000	0	1,000	0	1,000	
卒業式等実施補助	1,300,000	0	1,300,000	1,067,856	232,144	卒業記念パーティ補助、学位記ホルダー等
学務学生支援補助	7,310,000	0	7,310,000	7,310,000	0	学生支援品補助
科目	当初予算額	流用・補正	予算現額	決算額	不用額	備考（主なもの）
	円	円	円	円	円	
講座研究費補助	1,700,000	0	1,700,000	1,304,285	395,715	
学術研究費補助	650,000	483,535	1,133,535	1,133,535	0	地研消耗品費補助
学術研究旅費補助	650,000	△ 499,305	150,695	0	150,695	
研究機関誌補助	150,000	15,770	165,770	165,770	0	地研年報印刷費補助
発展計画委員会等補助	250,000	0	250,000	4,980	245,020	アンケート用外付けHD
附属図書館費補助	1,810,000	0	1,810,000	1,773,914	36,086	
図書購入費	1,510,000	0	1,510,000	1,509,265	735	学術誌等購入費
印刷費	180,000	0	180,000	144,699	35,301	図書館だより印刷、雑誌製本費等
消耗品費	120,000	0	120,000	119,950	50	
校舎整備費補助	1,500,000	0	1,500,000	1,387,829	112,171	
校舎整備費補助	1,500,000	0	1,500,000	1,387,829	112,171	Wifi機器、手指消毒関係製品購入費、空調機器取り換え修繕費等
渉外費補助	50,000	0	50,000	8,800	41,200	
渉外費補助	50,000	0	50,000	8,800	41,200	供花・生花代
積立金	0	0	0	0	0	
積立金	0	0	0	0	0	
予備費	88	0	88	0	88	
予備費	88	0	88	0	88	歳入決算による
合計	27,898,088	0	27,898,088	24,920,278	2,977,810	

収入決算額	27,897,206円	
支出決算額	24,920,278円	
差引残額	2,976,928円	（翌年度繰越金）

同窓会だより

－事業報告と決算－

　今回の同窓会総代会につきましては、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から「書面決議」で開催されました。

　令和元年度、令和２年度の事業報告と決算報告、会計監査報告、令和３年度の事業計画と予算を上程し、原案通り承認されました。

令和2年度三重短大同窓会決算書

自　R2.4.1
至　R3.3.31　　　　単位：円

収入

項目	予算額（A）	収入済額（B）	比較増減（B−A）	摘要
前年度繰越金	7,746,830	7,746,830	0	
会費収入	1,770,000	1,765,000	△ 5,000	5,000円×353名
預金利子収入	1,000	645	△ 355	預金利子　百五銀行 645円
寄付金		1,000,000	1,000,000	水飼健治様
雑収入	0	13,158	0	郵送料返金
合計	9,517,830	10,525,633	994,645	

支出

項目	予算額（A）	支出済額（B）	比較増減（A−B）	摘要
協賛事業費	350,000	0	350,000	
助成事業費	930,000	68,526	861,474	学報みえたん助成
卒業記念品作成費	200,000	158,950	41,050	手提袋 学位記ホルダー(教育振興会と分担)
同窓会だより発行費	300,000	144,000	156,000	会報みえたん　73号　原稿料
会議運営費	500,000	217,813	282,187	役員会　会報編集委員会　開催費
事務費	200,000	98,617	101,383	通信運搬費、.送金手数料、事務消耗品
予備費	32,830	0	32,830	
小計	2,512,830	687,906	1,824,924	
特別学生支援費	3,000,000	2,353,820	646,180	新型コロナウィルス感染対策支援金としてプリペイドカード配布
特別事業準備費	4,000,000	0	4,000,000	
合計	9,512,830	3,041,726	6,471,104	

収入済額 10,525,633円　－　支出済額 3,041,726円　＝　次年度繰越額 7,483,907円

現金、預金残高

	金額	摘要
現金	38,117	現金 38,117円
普通預金	7,445,790	百五銀行　7,445,790円
定期預金	0	
計	7,483,907	

キャリア支援室たより

キャリア支援委員会

　就職や編入学など、学生それぞれが思い描いた進路をサポートしています。

　前期に開講している「キャリア形成セミナー」（毎週火曜日、第９・10限）には今年度、２８１名が受講しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で不開講となったため、今年度の同科目には、１年生のみならず２年生も多く受講しました。

　前葉泰幸津市長をはじめ、毎回様々な分野から講師をお招きし、職業観や人生観に触れることを通して、今後の進路選択に役立てています。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、座席間隔を空けて着席しているため、本学４階の教室で最も大きい41番教室にてご講演いただいている様子を、同時中継で他の３つの教室に配信し受講するという本学の授業でも初の試みでした。本学教職員の協力、そして何より学生の理解を得て、無事に終えることができただけでなく、受講後の学生からは自らのキャリア形成を意識するよい契機となったと大変好評でした。

　学生それぞれの就職活動をサポートする就職支援室であるＴＡＳＫ ＲＯＯＭでは、求人票や就職試験受験報告書、企業説明会案内などの各種資料を備え、週に２～３日、キャリアカウンセラーが常駐して進路相談に応じています。ＴＡＳＫ ＲＯＯＭの中に面談コーナーを設けており、面接指導やマナー指導をより実践的に細やかに行なっています。ゼミ担当教員やクラス担任教員も、履歴書や志望理由書の添削、面接練習などを随時行っています。

　図書館には各大学の編入学生募集要項や編入学試験受験報告書、卒業生が寄贈した編入学試験対策テキストなどがあり、編入学希望者が活用しています。また、公務員試験受験報告書や公務員試験受験案内などの資料もあり、公務員志望者も利用しています。

　今年度の就職活動については、活動開始時期等に変更はありません。現１年生は後期から開催される就職ガイダンスに参加し、就職活動に臨んでいくことになります。

　今年度はオンラインにて編入学試験対策講座、公務員試験対策講座を開講しています。編入学試験対策講座では英語と小論文の講義を行い、三重大学編入学試験対策を行っています。公務員試験対策講座については主に１年生を対象に実施しており、受講生は熱心に取り組んでいます。

　２年生の就職内定者はコロナ禍でもあり、やや厳しい滑り出しです。編入学については、現時点で三重大学人文学部２名、同大学生物資源学部３名、同大学工学部に１名、福井大学工学部１名、関西大学総合情報学部１名に合格者が出ています。

　編入学試験、公務員試験とともに、これから本番の時期を迎えます。学生にとってよりよいキャリア形成となるようサポートします。

学生自治会だより

自治会・大学祭実行委員会

1部自治会

法経科第1部自治会長
鈴　木　美　咲

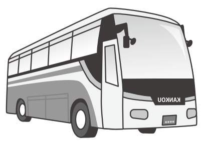
私たち1部自治会は法経科第1部・食物栄養学科・生活科学科の学生で構成されています。今年も新型コロナの影響で活動が少なくなりましたが、主な活動としては4月の新入生歓迎会や11月の大学祭のサポートを行っています。

また、自治会のメンバーから進んで生協学生委員会や大学祭実行委員会のお手伝いをしている学生もいます。今年は、コロナ禍でも学生の皆さんに楽しんでもらえるような新しい企画を考えています。実行できる・できないよりも、まずは考えて案として形にしてみるということにもやりがいを感じています。2年間という短い学生生活をより楽しく過ごしたい、新しいことにチャレンジしたいという方は是非一部自治会へ！あなたのユーモラスな考えが形になり、学生の皆さんを楽しませてくれること間違いなしです！

2部自治会

法経科第2部自治会長
糸　川　等

現在、2部自治会には8人の学生が所属しています。主に、新入生歓迎バス旅行、法経科第2部の新入生歓迎パーティーの主催、大学祭での出店など、様々な活動をしています。その中でも大きなイベントである、バス旅行は今年、100人ほどの学生が参加し、ナガシマスパーランド&ジャズドリーム長島に行きました。また、秋頃にコロナ対策をした上で、イベントを行いたいと思っています。現在、新型コロナウイルスの影響で多くの学生が、楽しい大学生活を送れていないと思います。そのためにも、1つでも多くのイベントを開きたいと思っているので、是非参加・見学をしに来てください！お待ちしております！



令和二年度の学事報告

大学総務課

四月…入学式（中止）、新入生各種ガイダンス（案内資料を送付）、大津波想定避難訓練（中止）

六月…前期普通講義開始（二十二日～）

七月…健康診断（二十三日、二十四）、サマーフェスティバル（中止）

八月…オープンキャンパス（申込者へ資料を送付対応）

九月…前期成績発表（二十三日、二十四日）、後期オリエンテーション（二十三日、二十四日）、

十月…後期講義開始（五日～）、オンライン受験相談会（十七日）

十一月…関連分野入学試験（七日）、大学祭（中止）

十二月…推薦入学試験（十二日、十三日）、受験相談会（十九日）、冬季休業（二十四日～一月三日）

一月…後期普通講義再開（四日～）、後期補講（二十五日～二十九日）

二月…法経科第2部受験相談会（六日）、一般入学試験（八日、九日）、後期追試験（十五日）、オンライン大学祭（十一日）

三月…後期成績発表（一日、二日）、法経科第2部入学試験（七日）、学位記授与式（二十日）

大学祭実行委員会

大学祭実行委員会委員長
平　嶋　大　雅

私たち大学祭実行委員会は現在、11月に開催を予定している学祭に向けて活動しています。昨年度は新型コロナウイルスの影響を受け、サマフェスは中止、そして学祭は延期された後、オンラインでの開催となりました。私を含めた学祭委員は、まだ対面での学祭を体験したことがなく、全員手探りの状態です。不安な要素が多い中で活動をしていますが、そこを逆手にとり、オリジナリティあふれる新しい三重短の学祭を築き上げることが出来れば良いと思っています。

今、大学祭実行委員会は43名もの学生によって支えられています。そんな多くの仲間と一緒に、「新しい学祭」を三重短の学生のみなさんにより楽しんでもらえるよう奮闘しています。今年は感染対策を徹底したうえで、対面での開催を実現できるよう頑張ります！

令和二年度進路状況

学生部

令和2年度の企業の採用活動については、3月1日の採用広報解禁直後、多くの企業説明会等が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、その後の採用活動においても採用の中止や選考時期の延期などの動きが見られ、学生の就職活動は非常に厳しいものとなりました。

編入学試験においては、試験日程や試験内容が変更となる場合があり、戸惑う学生が多く見受けられました。

このような状況の中、内定率は前年比で10ポイント前後低い状態が続きましたが、年度末には例年並みの95・9％まで上昇しました。コロナ禍で求人を減らす企業もあれば増やす企業もあり、就職先は確保できたように思います。栄養士職や福祉職では、施設見学等が困難になった例もありますが、コロナ禍による求人への影響は少なかったようです。

令和2年度の進路状況は次のようになります。

法経科第1部卒業生103名中、進学19名（うち大学編入16名）、就職63名（うち公務員9名）となっております。

法経科第2部は卒業生82名中、進学26名（同22名）、就職22名（同1名）となっております。

生活科学科食物栄養学専攻は卒業生47名中、進学6名（同5名）、就職39名（同0名）となっております。

生活科学科生活科学専攻は、卒業生109名中、進学21名（同19名）、就職64名（同4名）となっております。

編入学先としては、国公立大学30名（三重13名、島根4名、愛媛2名、福井2名、大阪市立、香川、金沢、滋賀、埼玉県立、滋賀県立、島根県立、福知山公立、都留文科）、私立大学32名（南山3名、龍谷3名、大阪経済3名、京都産業2名、日本福祉2名、関西、神戸学院、東京経済、京都女子、追手門学院、東海学院、徳島文理、皇学館、摂南、北陸、関東学院、東京医療保健、武庫川女子、兵庫、山梨英知、金城学院、愛知工業、中央（通信教育課程）、放送）となりました。

また、就職先としては、法経科第1部法律コースでは公務員（三重県庁、三重県警察、松阪市等）、法経科第1部経商コースでは金融機関、生活科学科食物栄養学専攻ではフードサービスや医療機関、生活科学科生活科学専攻では住宅・不動産、社会福祉法人など、学科の特色を生かした希望先に就職する傾向が見られました。

成績優秀者表彰

大学総務課

令和3年3月に挙行されました学位記授与式におきまして次の者を表彰しました。

食物栄養専攻並びに生活科学専攻生活福祉・心理コースの成績優秀者に対し、社団法人全国栄養士養成施設協会、並びに一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟より授与されるものです。

●全国栄養士養成施設協会表彰
食物栄養学専攻
井口　瑞貴（いぐち　みずき）

●日本ソーシャルワーク教育学校連盟表彰
生活科学専攻　生活福祉・心理コース
奥村　真奈（おくむら　まな）